

# ●1分で見える世界景気／2018年4月末から見た2018年5月動向

※世界同時好況と複合リスク(米国利上げ、地政学、貿易関税)が同居する世界経済の中、日本はリーダーシップを取れるか？

**欧州**

**英国/EU離脱、残り約1年**

EUが移行期間20年末までを承認  
4月にEUと英の自由貿易協定の協議開始

- ・17年GDP+1.9%→+1.8%

2018年政治リスク ・中東欧、スペイン  
・イタリア/連立交渉難航 ・欧州制度改革

## 政治、地政学、貿易関税リスク

ドイツ・メルケル政権4期目へ

・EU  
2月消費者物価指数+1.4% (前年同月比)  
1月失業率8.5 (低下)  
2018年経済見通し 上方修正+2.0%

**欧州中銀** 経済見通し改善  
金融緩和縮小決定  
・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロ  
・期間を17年12月末→18年9月末まで延長  
・6月理事会に注目集まる

**新興国 回復の傾向鮮明に** ●ブラジル/2017年度 GDP+1.0% (前年比) 景気下落底打ちか

- インド/2017年10-12月期GDP+7.2% (前期比)
- オーストラリア/2月雇用+17,500人 17ヶ月連続増加
- アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想 (アフリカ開発銀行)
- トルコ/2017年GDP+7.4% (過熱感)
- イラン/17年GDP+3.5% (昨年+12.5%) で急減、地政学リスクが影響か？

**中国**

**地政学&貿易関税リスク**

18年経済成長率目標 6.5%前後  
※17年GDP+6.9% (昨年6.7%)

18年1-3月期 ※ ( ) は前期比

- ・建設、不動産低迷
- GDP+6.8% (+6.8)
- 輸出+14.1% (+7.9%)
- 固定資産投資+7.5% (+7.2%)
- 工業生産+6.8% (+6.6%)
- 実質個人消費+5.4% (+5.4%)
- 不動産販売+3.6% (+7.7%)

**米国**

**トランプ政権**

雇用増、設備投資増

**地政学&貿易関税リスク**

**景気好調** ※2018年予想+3.0% (昨年+2.3%)

- 3月雇用+10.3万人、失業率4.1%
- 2018年1-3月の主要500社の利益は2割増 (前年同期比) へ
- 長期金利3%台へ**
- 3月新車販売+6.3% (前年同月比)、生産台数増加
- ・新築戸建販売件数3月+11.75% (前年同月比)

**日本**

**地政学&貿易関税×国会リスク**

経済堅調、雇用改善

- ・2月失業率2.5%、訪日客1-3月+17% (前年同期比)
- 消費1兆1343億円
- 3月日銀短観/景況感8期ぶりに悪化**  
→原材料上昇、人手不足、円高、貿易摩擦を懸念

●日銀 黒田総裁再任スタート 緩和維持 (物価2%達成まで)

金融緩和が量から金利へ  
①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

世界同時好況と複合リスク(米国利上げ、地政学、貿易関税)が同居する中、

ポスト適温経済のリーダーはどの国か？

緩和マネー